

令和8年度 学校自己評価表 坂町立坂小学校

テーマ『守りの学校評価から攻めの学校評価へ ～子どもも教師もともに学びを追究し続ける学校～』

学校教育目標	目指す姿	経営理念（使命感・経営展望）
本気で「考動」する 自分の考えをもち、自ら判断し、失敗を恐れずに行動する。自分の行動には <u>責任をもち</u> 児童を育てる。 ★責任をもちから自分が育つ ⇒「自分を育てるのは自分」	【目指す子ども像】 さ……最後までがんばる子 か……考えを深め合う子 しょ…正直でやさしい子 う……運動が大好きな子	【使命】 自立した社会人として必要な資質・能力を培い、坂町の未来を創る坂っ子の育成 持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力を身に付け、「ふるさと坂」に愛着と誇りをもった児童を育成する。 【経営展望】 <u>「子どもも教師も学びの主体として、自ら考え、判断し、行動する力を高める。他者と協働しながら子どもが学びをつなぎ、自分の学びを創り、追究し続ける学校を目指す」</u>

評価計画

経営展望 （中期経営目標）実現に向けての現状（進捗状況）と今年度の位置付け	本校は昨年度、「本気で『考動』する」を学校教育目標とし、児童一人ひとりが自分の考えをもち、主体的に課題解決に取り組む力の育成を目指してきた。しかし、年度末に実施したSWOT分析からは、子どもはまじめで与えられたことには従順に取り組む一方で、 <u>自ら問いをもち、自分の学びをつないで考える</u> 姿には課題が見られた。そこで今年度は、 <u>与えられた学びにとどまるのではなく、「自分を育てるのは自分」という認識に立ち、児童一人ひとりが「自分自身はどうなっていきたいのか」と自ら</u> <u>の生き方を問い続ける</u> ことに重点を置く。教職員一人ひとりが「子どもを見取る目」をもち、日々の実践や校内研修等で互いに磨き合う教師集団を築いていく。その上で、教師が子どもの「やってみたい」という思いを引き出し、児童自身が学びをつなぐとともに、他者との関わりの中でそのつながりを実感できる <u>授業づくり・学校づくり</u> を推進する。具体的には、①子どもの言葉でつなぐ「まとめ」と「振り返り」、②「子どもを見取る目」を磨き合う校内研修、③子どもが目標をもち、なりたい自分に向かって学びをつなぐ学校行事、④子どもの姿が見える学校評価である。また、経営方針に基づいて <u>子どもの姿が見える学校自己評価</u> を刷新・実施することで、本校の使命や経営展望を軸とした評価体制の構築を進めていく。（中期目標：3年、短期目標：今年度）
---	---

学校経営の柱に対する考え方

a【確かな学力】 主体的に学び、最後までがんばり、豊かに表現することができる児童	昨年度は、「お清書コーナー」を用いて、学習したことを再度書いて表現する活動に重きを置いて実践してきた。今年度は、その前段階として、児童一人ひとりの経験や授業の中で生まれる「ずれ」や「問い」に目を向け、子ども <u>自らが考えをもち</u> 、学びをつなぎ、表現する力の育成へと転換を図る。そのために、自他と関わる場面において、児童の「 <u>やってみたい</u> 」という思いを引き出し、 <u>自分の考え</u> を表現したくなるような授業づくりを推進する。子どもの生きた言葉が紡がれる板書を介して、子ども自身が <u>問いに向き合い</u> 、自己の内面の願いや思いに対峙することを促していく。さらに、児童主体の視点に立ち、従来の学校行事など教育活動のつながりや在り方を見直すことで、 <u>児童自身が学びをつなぎ</u> 、日々の教育活動の中で、 <u>自らが学びを追究していく姿</u> を目指す。
b【豊かな心】 礼節を重んじ、友だちや家族を大切に思う心をもち行動しようとする児童	昨年度の「自己のよさに気付く自己有用感の育成」に加え、今年度は、授業や係活動、縦割り班活動等、学校行事等において「うまくいった自分」だけでなく「 <u>うまくいかなかった自分</u> 」とも向き合い、自らに問い直す姿の育成を重視する。その中で、「 <u>自分自身はどうありたいか</u> 」と <u>願いをもち</u> 、一步踏み出す気持ちを育むとともに、試行錯誤する中で「 <u>次はこのように成長したい</u> 」と新たな <u>目標が生まれる</u> ことを大切にす。また、自分の生活の場に目を向け、目的や願いをもって環境を整えようとする心を育む。教師は、子どもが自分自身とどのように向き合っているか、友だちとどのように関わっているかに目を向け、よさや可能性を見取るとともに、自らのまなざし（見取る視点）を問い直し続ける。常時活動や学校行事についても、 <u>個々の目標に基づいた振り返り</u> を通して学びを創り出し、子ども主体の在り方を捉え直しながら改善を図っていく。
c【たくましい体】 体を動かすことが好きで、基本的な生活習慣が身に付いている児童	児童一人ひとりが、「こんな自分になりたい」「友だちとこんな遊びをしてみたい」という <u>目標や願い</u> をもち、学級集団・学年集団・異年齢集団などの中で、他者と関わる楽しさを味わえる場を設ける。また、学校行事や日々の掃除・生活指導を <u>児童自身が学びに向き合う場</u> として捉え、自分自身を振り返り、成長を実感できるよう工夫する。さらに、体育科の授業に加え、児童会活動や学校行事と関連付けながら子どもが主体となる学びを創っていく。体育科授業の充実や外遊びの奨励、食を通した心身の健康への意識づけなど、日常的な働きかけを積み重ねることで、心身ともに健康でたくましい児童の育成を図る。
d【信頼される学校】 地域・保護者とつながる、安全・安心は学校	<u>子どもの学びの姿が見える学校</u> を目指し、これまで以上に地域・保護者と連携を図りながら、児童の安全・安心を最優先に据え、自ら考え行動できる教育活動を推進する。保護者にとって「坂小学校に通わせてよかった」と感じられ、地域の方々にとっても「坂小学校があつてよかった」と思われる学校づくりを目指す。また、学校の教育方針や児童の学びの姿を積極的に発信し、開かれた学校づくりを進めるとともに、地域とともに教育の在り方を考え、信頼される学校を目指す。

中期経営目標	短期経営 目標	具体的な取組・方策	評価 指標	参考値 R 7	目標値	実績値		評価 (自己評 価の結 果)	成果と課題	改善策
					R8	中間	最終			
【確かな学力】 主体的に学び、最 後までがんばり、 豊かに表現するこ とができる児童	a 基礎学力の定着 b 表現力の育成 c 子どもを見取る 目を磨き合う集団 づくり	a 個別学習と協働学習の一体的な学びの実現を目 指した授業の構築 b 「振り返り」など、子ども自身が学びをつなぐ 力の向上 c 展開終盤の「まとめ」の場面において、児童の 言葉で学びがつながる「板書」の創造 「 <u>子どもを見取る目（力）</u> 」を磨き合う校内研修	a 単元 末テス ト b 児 童 アンケ ー ト c 教職 員アン ケート	a 単元末 テスト 知技 87% 思判表 85.8% b なし c なし	a 単元末 テスト 知技 90% 思判表 90% b 児童アンケ ー ト 85% C 教職員アン ケート 85%					
【豊かな心】 主体的に礼節を重 んじ、友だちや家 族を大切に思う心 をもち行動しよう とする児童	a 生活の場を見つ め、自分から環境 を整えようとする 態度を養う b 他者とかかわり の中で、自分のよ さや弱さに気付く	a 礼儀と節度を基盤とした黙動清掃を推進し、振 り返りや価値付けを通して、自ら学びの場を整 える意識を高める b 他者との関わり（縦割り班活動・児童会活動 等）を通して、喜びや難しさに気付く場を設定 する ・振り返りの充実、(作文等)	a 児童 アンケ ー ト b 教職 員アン ケート	a 児童アンケ ー ト 87% a 児童アンケ ー ト 1～4 年 97% 5～6 年 87%	a 児童アンケ ー ト 90% b 教職員アン ケート 90%					
【たくましい身体】 体を動かすことが 好きで、基本的な 生活習慣が身に付 いている児童	a 自ら学びを創 り、心身ともにた くましい児童の育 成 b 自らの体と心の 育ちに気付く児童 の育成	a 一人ひとりの目標を明確にした活動と体育的行 事との意図的な関連を図った振り返りの充実 ・子どもが体を動かしたくなる場の設定 ・児童が学びを意識し、自分の学びをつなぐキャ リアードの活用 b 自分の体の成長や食べることによる心の安定に 気付く力を育む食育の推進 ・バランスのよい食事の奨励 ・生活科、保健指導との関連を図った横断的指 導	a 児童 アンケ ー ト b 教職 員アン ケート	a 児童アンケ ー ト 87% b なし	a 児童アンケ ー ト 90% b 教職員アン ケート 85%					
【信頼される学校】 地域・保護者とつ ながる、安全・安 心は学校	子どもの学びの姿 が見える地域・保 護者との連携・協 働	子どもの学びの姿を捉えた学校評価と積極的な情 報発信 ・学校便り・学年便り・HP 等 ・コミュニティスクールの充実	保護者 アンケ ー ト	【様子が伝 わる】 95.6%	【様子が伝 わる】 98%					
	教職員の充実感の 向上	a 業務での充実感が得られる取組 ・目標の進捗状況を相談し合える時間の確保 ・校務分掌内での話し合いの充実 b 子どもと向き合う時間を確保するための取組 ・学年・分掌等において協働的な業務の遂行	a.b 教 職員ア ンケー ト	【a 充実感】 91% 【b 協働的】 91%	【a 充実感】 95% 【b 協働的】 95%					